

環境創造センター 出前講座

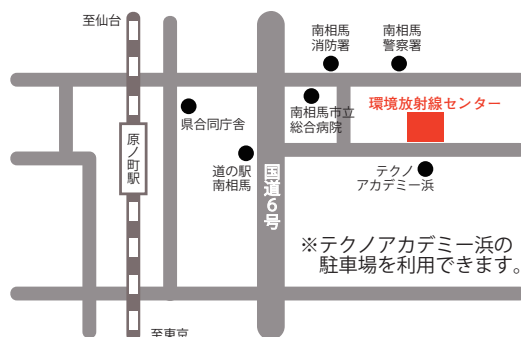
—震災から5年、身近な環境は今—

震災から5年を迎え、わたしたちの身近な環境はどう変化し、放射性物質による汚染からどれくらい回復しているのでしょうか。

本出前講座では、最前線での研究で得られた成果をわかりやすく解説し、ふくしまの環境回復と復興について、地域のみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。ぜひ、お気軽にお越しください。

日時：平成28年3月5日(土)
13:00～15:30(受付開始12:30)

場所：環境放射線センター大会議室
(南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-169)



*参加費無料
*事前申込不要

環境創造センターについて

福島県が南相馬市と田村郡三春町に設置する、前例のない原子力災害からの「環境回復と創造」に向けた調査研究や情報発信、交流等を行う総合的な拠点です。平成28年度からは、福島県・日本原子力研究開発機構・国立環境研究所が協力しながら、さまざまな調査研究を行っています。昨年11月には、原町区に環境放射線センターがオープンし、浜通りの環境放射能等のモニタリングなどを行っています。

プログラム

13:10～13:20

「環境創造センターについて」

角山 茂章 (福島県環境創造センター所長)

13:20～13:40

「環境創造センターで福島県が行う環境回復に向けた研究」

鈴木 聡 (福島県環境創造センター)

13:40～14:00

「無人機を使用した放射線測定技術」

真田 幸尚 (国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構)

14:00～14:20

「地元民間団体による線量の測定経過」

高橋 荘平 (一般社団法人 南相馬除染研究所)

14:20～14:40

「身近な自然環境の中の放射性物質の動き」

林 誠二 (国立研究開発法人 国立環境研究所)

14:40～15:25

意見交換

講演に関することや普段から気になっていることなどについて、会場の皆様と意見交換を行います。

コーディネーター：田中 章広 (特定非営利活動法人 相双NPOセンター専務理事)